

競 技 注 意 事 項

1 競技規則について

本大会は 2023 年度 (公財) 日本陸上競技連盟競技規則及び本大会申し合わせ事項によって実施する。

2 練習について

- (1) 練習は係員の指示に従って、安全に留意して行うこと。特に投てき練習は危険防止に努めること。競技場周辺は専用利用ではないので一般の利用者にも十分配慮すること。
- (2) 練習会場及び競技場では、逆走、チューブ・けん引ロープ等の器具を使った練習、レーン内にミニハードル・マーク等を置いて行う練習は、危険防止のため禁止とする。
- (3) 投てき練習は投てき場のみで行い、危害予防に特に留意すること。
- (4) 投てき競技においては必ず競技役員の指示に従って練習すること。
- (5) 走路の使用は原則として以下の通りとする。状況により変更があるときは係員の指示に従うこと。

◎補助競技場 ・ 1～2 レーン：中長距離 ・ 3～6 レーン：短距離 ・ 9～10 レーン：ハードル
※短距離⇒ホームストレートは 7～8 レーンも使用可
・ 第 1 曲走路～バックストレート～第 2 曲走路の 7～8 レーン：400mH

◎雨天練習場 ・ 1～2 レーン：スタート練習 ・ 3～4 レーン：快調走 ・ 5 レーン：復路
・ 6 レーン 待機場所 ※使用できる用器具はスターティングブロックのみ
※走方向 南⇒北 (1500m スタート⇒200m スタート)

3 招集について

- (1) 招集場は本競技場メインスタンド下の室内練習場に設ける。(100m スタート側)
※中長距離種目(1000m～)とフィールド種目については現地招集とする。
- (2) 招集時刻について
アトラック種目は競技開始 20 分前に完了する。
イフィールド種目は競技開始 30 分前に完了する。
- (3) 招集の方法について
ア 競技者は、招集完了時刻 5 分前までに招集所内の席で待機し、最終点呼を受ける。その際、アスリートビブス・スパイク等の点検を受ける。なお、トラック競技のみ腰ナンバーカードを受け取り、出発までに右腰部に付ける。
イ カメラ類、ラジオ、トランシーバー、携帯情報端末(デジタルメディアプレーヤーを含む)もしくは類似の機器の持ち込みは禁止とする。
ウ 代理人による点呼は認めない。2 種目を同時に兼ねる競技者は『2 種目同時出場届』(招集所に準備する)を競技者係に提出し、競技の進行に支障のないようにすること。
エ 招集完了時刻に遅れた競技者は、棄権とみなして処理する。
オ 棄権する競技者は招集完了時刻までに所定の『欠場届』(招集所に準備する)を競技者係に提出すること。
カ アスリートビブスは所定の大きさのままで胸、背部両面に付けること。ただし、跳躍競技は背部または胸部のみでもよい。

4 競技について

(1) トラック競技

- ア スターターの合図は英語（イングリッシュ・コマンド）で行う。
- イ 不正スタート1回で失格とする。小学生種目については、1回目の不正スタートは失格とせず、そのレースで2回目以降の不正スタートをした競技者は、すべて失格とする。
- ウ トラック競技は全て写真判定装置を使用する。
- エ レーンの競走においてはフィニッシュライン通過後も自己レーン（曲線）に従って走ること。
- オ 3000m、5000mについては、気象状況によっては給水を実施する。

(2) フィールド競技

- ア 競技場内での練習は、全て競技役員の指示に従って行うこと。
- イ 投てき競技の計測は光波測定器を使用する。
- ウ 跳躍・やり投の競技者は、助走路の外側（走高跳は助走路内）にマーカーを2個まで置くことができる。サークルで行う投てき競技は、マーカーを1つだけ使用することができる。
- エ 携帯電話等、競技規則 TR6.3.2 に関わる機器は競技場内に持ち込むことができない。
- オ 走高跳バーの上げ方は最後の一人になるまでは下表の通りとする。ただし、気象状況により変更する場合がある。

種別・種目	練習	1	2	3	4	5	6	7	8	以後1人になるまで
男子走高跳	1.55	1.60	1.65	1.70	1.75	1.80	1.85	1.90	1.95	3cm
女子走高跳	1.30	1.35	1.40	1.45	1.50	1.55	1.60	1.63	1.66	3cm

5 競技用具について

- (1) 投てき用具は競技場に備え付けのものを使用する。
- (2) シューズのソールの厚さを以下のとおりとする。
 - トラック種目：800m 未満の種目→20mm以内 ・800m 以上の種目→25mm以内
 - フィールド種目(除 三段跳)→20mm 以内 ・三段跳→25mm以内※2024年11月1日よりトラック種目は25mm以内、フィールド種目20mm以内となる。
- (3) スパイクシューズのピンは7mm以下とする。走高跳およびやり投は9mm以下とする。二段平行タイプの形状のものを使用すること。

6 その他

- (1) 本記録会是有観客による大会とし、出場するチーム関係者は当協会策定の「2023年度大会への参加及び大会実施におけるガイドライン(4月1日～)」に従って感染予防に努めること。なお、小学生チームについては、選手のサポートとしてID（またはビブス）着用のもと5名まで競技場に入ることを許可する。
- (2) 受付開始時刻とプログラム訂正は7:45～8:15、メインスタンド開門時刻は7時30分とする。
- (3) 発病、負傷に対しては応急処置以外の責任は負わない。医務室は本部席にある。
- (4) 貴重品の管理は各人で行うこと。紛失の責任は負わない。
- (5) マスクを着用して声援は可とする。マスクを外して会話をする場合は、できるだけ隣との間隔を空ける・大声を出さない等の従来通り感染症予防に努めること。
- (6) 記録の証明を希望する競技者は、庶務係の受付に用意した記録証明書交付願に500円を添えて申し込むこと。
- (7) リザルトについては当協会ホームページに掲載する。（記録掲示板への掲示はしない）
- (8) 大会終了後に新型コロナウイルス感染症の診断を受けた場合は、速やかに当協会に報告すること。